

こみゅにTe@たいむ

町内会に加入しましょう



雨の中、力を合わせて作業。地域の結束が強まります

お祭りシーズンの9月は、町内会や自治会などを中心に山車組が結成され二戸の秋を華やかに彩りました。

町内会は、住民により自主的に組織された、地域住民が自分たちの住む地域を快適で住みよくするための自治組織です。市内には町内会のほかに常会、自治会、協議会、振興会などさまざまな名前の自治組織があります。

私たちの生活は、地域の皆さんやご近所の人との協力によって成り立っています。いざというときに頼りになるのは、同じ地域に住んでいる周囲の人です。日ごろから顔の見えるお付き合いをし、連帯感を深めることは、とても大切なことです。

町内会では、地域住民の親睦、防火・防犯活動、清掃活動・街路灯設置などによる環境整備、お祭りなどの行事への参加、行政への地域要望など、私たちの生活に身近な自主活動を行っています。「面倒だから」「分からないから」といって地域のことを他人任せにするのではなく、お互いに協力しあうことが必要です。あなたも町内会に加入し、地域に根ざした快適な暮らしをしましょう。

問い合わせ先 地域振興課 (内線 352)

地域おこし協力隊企画・二戸の宝を訪ねる旅

「トリコロールフェスタ」と二戸のいいとこハイキング

日時 10月20日(日)午前10時20分

集合場所 二戸駅西口カシオペア FM スタジオ前

募集人数 先着20人 参加費 1,500円(おやつ代、ドリンク代、保険料)

内容 地域おこし協力隊・野澤をメインガイドに、石切所奥山地区・上里地区・男神女神をハイキング

問い合わせ、申込先 銀河鉄道観光 (☎ 019-654-1489)

【地域おこし協力隊ブログ随時更新中!】

URL <http://www.iju-join.jp/chiikiokoshi/blog/>

フェスタ会場
でプレゼントあり!

—地域おこし協力隊通信—

たかっぼの中



七かき目 「地域おこしのカギ」



先日、長野県の本曾福島で「地域おこし協力隊・全国女子会」が開催され、女子隊員を中心に全国から100人を超える関係者が集まり、私も参加してきました。

「縁もゆかりも無い全く知らない土地で地域おこしをしよう!」と単身移住し、活動する女子隊員は、共通してパワフルで自由な発想力を持つ方がとても多いと感じました。活動地域は違えど「地域活性化」という共通の課題に取り組む女子たちとの交流の中で、色々な気づきと学びがありました。

地域おこしは「地元」を恋をす

ること」が最初のステップ。心ときめく地元の魅力を、シンブルなキーワードで定義すると、後の活動がブレません。

次に「表現すること」。地元の良さを広く内外に知ってもらうためには、具体的な形にする必要があります。ステキなホームページ、カワイイ地図やパンフレット。魅力的な特産品や、ブランドイメージを上げるパッケージなど。表現の手法と組み合わせは無限ですが、ポイントは「テーマが明確」で「思わず周りに見せたいくなるほどステキなもの」を作ること。

ところが、いくらステキなも

のを作っても、それを広める仕掛けや仕組みがなければ誰の目にもふれないまま終わります。そうならないためには、とにかく地域を飛び出して交流し、情報発信をしつつ、同時に他地域について学び、情報や物流の流れをデザインすることが必要。メディアの活用も有効です。

企業でいうところのいわゆる「営業やマーケティング」ですが、実はこの過程が地域おこしの一番の肝です。地元の「ステキ!」をアピールすることで、その持続的な活動が共感を生み、内外関係なく「人」を巻き込み連携が生まれる。「人×人

「無限」。地元と他の地域の繋がりは双方にとって利益を生む活動に発展します。

地域おこしに最も必要なのは「やりたい!」という地元の皆さんの気持ちです。地域の未来の姿を作るのは、誰でもない「自分」です。なりたい未来は自分で掴むものだから。皆さんは、どんな未来を掴みたいですか? (地域おこし協力隊・永井尚子)